



かわら版あんず

第 42 号

発行責任者 福地 季子

〒317-0056 日立市白銀町 2-17-1

TEL. 0294-21-4150

会場一体となって 楽しんだ“年忘れ会”

ドントコピッピ、ドントコピーヒャラの音頭
にのって「高野ファミリーズ」の“獅子舞”
が登場。舞台狭しと面白可笑しく舞う“獅子
舞”と共に、おめでたい七福神も続く。はじ
めて見る獅子舞と七福神に外国の生徒さんは
目を輝かせ、椅子から総立ちとなる。

昨年 12 月 1 日に会瀬交流センターにおいて恒
例の年忘れ会が総勢 84 名の参加者を得て盛大
に、そしてアットホームな雰囲気の中で開催
された。

元気な開会宣言は、第 19 回日本語意見発表会
で“さくら賞”を受賞した中国出身の「顔淑英」
さん。合計 17 名の生徒さんが優良出席者表彰
を受けた。

乾杯！そして美味しい食事に舌鼓した後、
いよいよ余興。はじめは舞台上で演じていた
「高野ファミリーズ」は、最後は参加者のテー
ブルの間まで踊り歩き会場全体が一体となっ
て楽しんだ。その後もインドやペルーの踊り
そしてベトナムの歌で盛り上がり、7 歳のソフ
ィニちゃんと妹さんの可愛いヒップホップ
ダンスでは参加者の子供さんも飛び入りで踊
り、アンコールされ、さらにヒートアップし
た。

恒例の日立音頭の後、アイデア抜群のジグ
ソーパズルを模擬したゲームで夫々商品をゲ
ットした後、いよいよお待ちかねのプレゼン
ト交換。大喜びの人、少しがっかりの人、い
ろいろいたが、今野先生の閉会の言葉で解散
となった。

食事の準備に奔走された方、受付の方、会
場準備の方など、夫々大変お疲れ様でした。

(反町 正美)



女性センター祭 10月17、18日 女性センター

前年と同様、あんずの日本語コーナー、習字に、絵手紙、折り紙、茶道、生け花 etc.のコーナーに外国の人を案内しました。それに加え今回は、着物を着る体験をしてもらいました。



国際文化祭り 11月14日 日立シビックセンター

恒例の国際屋台村、インドとペルーの文化紹介。文化体験として『琴』と『ベトナム風花束』を体験してもらいました。

日本語意見発表会で顔 淑英さんが見事に、最上位賞のさくら賞を受賞しました。



日本語意見発表会

フレンドリーあんず出場者

- 楊 国玉さん (中国・茨城大学)
- 李 慧莉さん (マレーシア・主婦)
- 顔 淑英さん (中国・主婦)
- 田 艶新さん (中国・主婦)



「教育」がテーマの発表会は、レベルが高くて内容の濃い発表でした。

外国の方達が、日本滞在のなかで感じ、考えた事を、それぞれの切り口で展開してゆくスピーチは、聞く人達に感動を与え、又考えさせられた事もありました。お母さんが練習しているそばで子供がまねをしている姿もとてもほほえましいものでした。参加された方達にとってこの経験は、充実感と喜びと自信につながった事と思います。

大西 笙子

スピーチコンテストに参加した感想

顔 淑英

昨年のスピーチコンテストに参加して、さくら賞をいただきました。そのことについて二つの感想があります。

一つは、参加したことで、日本語の勉強をもっとまじめにするようになりました。本当に先生達のおかげで、発音まで直していただいたり、いろいろアドバイスをいただいたりしました。私自身もよく練習しました。それで、とても日本語の勉強になりました。

もう一つは、外国人として、このような活動に参加して日本生活にも役立つ事がありました。難しいことに挑戦する勇気を強く持てるようになりました。

今度チャンスがあったら、皆さんも是非参加してみてください。

医療通訳ボランティア研修会より

10月24日、日立消防拠点施設に於いて、茨城県国際交流協議会主催による医療通訳ボランティア研修会が開催されました。県内各地から139名〔通訳コース103名、一般コース36名〕が参加し、関心の高さをうかがわせました。

「外国人患者対応の現状と課題について」の説明後、在住外国人の体験談として、中国出身の饒廷麗さんが「日本での出産経験について」と題し、病院の先生や看護師の方々に見守られ無事出産し、感動と感謝の涙を流しました、と話されました。

全3回の研修を通し通訳者としての心構え、自己管理、通訳技術などを学び、多くの方たちがこのボランティア活動に携わって下さるよう願っています。

金岡 けい子

「茨城アジア教育基金を支える会」25周年記念講演会

1985年 初代事務局長中川紀子さんがSVA バンコク事務所から持参したタイ映画「田舎の先生」を県内各地で有志が上映し 収益で基金が創設されました。各地の上映グループが集まり 会発足となり、以来SVA（現シャンテ国際ボランティア会）に通訳と調整を依頼し、現地を実際に見て何が必要かを考え、タイ東北部の児童図書巡回をはじめに 翻訳絵本や教材支援 教員研修など様々な幼児教育プロジェクトを行いました。ビエンチャンの幼稚園教員養成学校にモデル幼稚園贈呈や幼児教育教本作成等も会員の努力と協力で成し遂げました。

「私に何ができますか」と世界の未来のため、アジアの子供たちの為にと活動してきた25周年を記念して講演会を開催します。

講師は永年ラオス国立図書館館長として読書推進運動をし、ラオスに図書館協会を立ち上げ 会長として図書館の普及と充実に尽力してこられたコンドゥアン女史をお迎えします。女史は古文書や伝統民族文化の研究で著名な方で 本会のラオス国での幼児教育プロジェクトのアドバイザーでもあります。通訳には民族文化や民話の伝承に取り組みラオスの山村に図書館を作られた安井清子さんです。

言語と文化について私たちの活動のグラウンドを考えるに稀少な機会と思われます。是非ご予約にお入れ下さい。

日時：6月27日（日） 午後1時30分より 場所：県南生涯学習センター

福地 季子

☆今年の抱負☆ “おうえんします!!”

日本語を勉強している外国の人たちに今年の抱負を聞いてもらいました。

仕事がうまくできるように。
(ザーン：ベトナム)

試験を頑張ります。
(許：中国)

あかちゃんが元気にうまれてほしいです。
日本語が上手になりたいです。
(レチテトゥイ：ベトナム)

クルマのしごとをおぼえたい。
(CHEENA ARSLAN ARSHA
(チーマ アルラネ アルシャッド：パキスタン)

日本語が上手になりたいです。
(蘇 玉華：中国)

私は日本語をもっとうまくなりたい。
(花岡 クリスティン：アメリカ)

日立での生活を楽しくできるように。
(陳 思奴 (チン ウェン：台湾)

いっしょうけんめいべんきょうして、
にほんごがじょうずになりたいです。
(シャマリィ レヌカ：スリランカ)

家のペットが元気になるようにしたいです。
(かくすげん：中国：小学生)

料理店を作りたいです。
(于 秋侠：中国)

日本語を沢山勉強します。
(王 艳平(ワン イェンピン)：中国 大連)

日本語で簡単な会話ができるようにしたいです。
(龔 武(ゴン ウー：中国)

もっとおおくの時間、日本語を勉強したいです。
日本語が上手になりたいです。
(魯 英：中国 湖南省)

試験を頑張ります。一年間で3級と2級をとりたいと思います。早く仕事をおぼえたい。
(林 涛：中国)

今年も続けて日本語を勉強して
日本語の能力試験を頑張ります。
(楊 国玉：中国)

日本語が上手になること。
(堀田 麗華：中国)

よい仕事をみつけること。
(李 菁：中国)

私は日本語をもっと勉強します。
日本語の試験に合格したいです。
(張 厚良：中国)

日本語を上手になりたいです。
運転免許を取りたいです。子どもをつくりたいです。
(張 小芹：中国)

日本語でもっと自然に話せるようになります。
(金 鋒：中国)

自由に日本語を話す事ができるようにしたいです。日本語二級試験に参加して合格したいです。
(劉 佳榆：中国)

平成 21 年度日本語教育ボランティア講座

日本語教育グループ（あんず、さくら、日本語の部屋）は、日立市生活環境部市民文化課と協力して外国人に日本語を教える活動をしています。

そして、日本語を教えることのできる仲間をふやすため、「初級日本語教育ボランティア養成講座」を開講しています。

例年、土曜日の午後でしたが、働いている人にも「日本語教育」を知ってもらいたいということで、今回は、夜に開講しました。若い人も集まり、ねらいは的中しました。受講後は、約

半数の人が各グループに所属し、ボランティアに励んでいます。

また、私たち仲間も、日々、日本語指導のレベルアップを目指しています。松浦先生を講師に迎え「日本語教育ボランティア・ステップアップ講座」を開講しました。「あんず」、「さくら」、「日本語の部屋」から45名が集まり、熱心に受講しました。

これからも、外国人に少しでも楽しく勉強してもらえるよう努力するつもりです。

宇津木 和子

日本語教室の今

～ありがとう～

田子森利恵

ブレンドリーあんずで活動して約1年が経とうとしています。振り返ってみると、この1年はとても貴重な体験ができた年でした。現在、私は中国から来た学習者に教えていますが、慣れない私の指導にも熱心に耳を傾けてくれて「先生、ありがとう」「先生、親切です」と日本語で言われた時にはこんな私でも少しは役に立っているのかなと思わせてもらっている日々です。

また、去年の夏祭りや年忘れ会などでは教室での学習とは違い、食事やゲームなどを通して他の学習者の方々とも交流でき、日本との文化の違いを教えてもらったりして楽しい時間を過ごすことができました。

これからもたくさんの人と出会い、一人でも多くの外国人の方に日本語と日本の文化を伝えて、世界のどこかで私という日本人がいたなと頭の片隅にでも思い出してもらえるように先輩ボランティアの方々のお力をお借りして努力していきたいと思います。

最後に学習者の皆さんと出会えたことに私からも「ありがとう」。

茨城県多文化共生フォトコンテスト奨励賞に入賞

昨年12月21日締切で314点応募があり、入賞作品23点のうちあんずから3点も入賞しました。「じゃんけんゲーム」

（フレンドリーあんず夏祭り）・「タンドリーチキン」

（フレンドリーあんずの料理教室）「あっ外れちゃった！」

（フレンドリーあんずのスイカ割り）

作品は2月に県庁に展示され、「ふれあい茨城」にも掲載されています。



あしあと



- ・ 茨城大学地域団体
交流懇談会（茨大工学部） 12/9
- ・ お惣菜料理教室（女性センター） 3/21 他隔月
- ・ 生け花クラブ（教育プラザ） 12/11 他4回

お知らせと今後の予定

- ・ フレンドリーあんず総会 5/9
（女性センター）
- ・ お惣菜料理教室 5月（隔月）
- ・ 茨城アジア講演会 6/27

編集後記：「今年の抱負」、外国の人は日本語の勉強中でありことばになれていないところもありますが先生方には今後のべ勉強に役立ててもらいたと思います。